

学科の理念・目的、求める学生像

学部	学科	理念・目的	学科の求める学生像
文学部	英文学科	国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。 4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
	総合人文学科	キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。	1. 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。 2. 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。 3. 社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。 4. 思想・哲学・文化・芸術・宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有している。
	歴史学科	広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。	1. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。 2. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。 3. 歴史に関する基礎知識を有している。 4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。
	教育学科	人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3. 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。 4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
経済学部	経済学科	時代に流されず、将来を見通す経済社会の理論とスキルを身に付けられるように基礎理論から段階的に現実の問題や政策を学習する。	1. 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考えられ自分の意見を明確に主張することができる。 2. 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。 3. 社会とは何か、特に経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲を持っている。 4. 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。
	共生社会経済学科	経済学のエッセンスを学びながら、年代や性別、ハンディキャップ、民族・文化の異なる多様な他者への理解を深め、共に生きる発想に基づいて、新たな社会経済システムを構想し実践できるような人材の育成を目指す。	1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。 2. 本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。 3. ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に対して積極的に取り組もうとする意欲をもっている。
経営学部	経営学科	経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるように、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。	1. 十分な基礎学力を有している。 2. 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとビジョンを持っている。 3. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。
法学部	法律学科	法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。 なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。 「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」"Think legally, for human dignity"	1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。 2. 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識をもっている。 3. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっている。 4. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。
工学部	機械知能工学科	人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。	1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。 2. 技術者として必要な自立・自律する心を育てること、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぶ意欲を有している。 3. 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。
	電気電子工学科	電気電子工学の基礎知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する。	1. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。 2. 先端科学技術に強い関心をもち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。 3. 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。
	環境建設工学科	1. キリスト教精神に基づく、倫理観を備えた人格を形成する。 2. 社会人として必要な教養を身に付けるとともに、環境工学の素養を持った中堅の建設系技術者を養成する。 3. 特に、技術者として具備すべき基礎学力を有し、基礎的専門知識を着実に修得した実践型の技術者となる学生を育成する。	1. 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。 2. 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。 3. 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。
	情報基盤工学科	社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT(Information Communication Technology)分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てる。	1. 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有している。 2. IT分野に強い関心を示し、関連分野の知識を習得する意欲を有している。 3. 本学科で学ぶ心構えと意欲をもち、かつ計画的な学習活動を行うことができる。
教養学部	人間科学科	人間を多角的・実証的に捉える力を育てる。	1. 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解できる基礎的な学力を有している。 2. 人間や社会の問題を実証的に分析する上で基礎となる数学的な思考力を備えている。 3. 自分の興味関心と将来の目標について、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。 4. 人間に対する探究心をもち、本学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。
	言語文化学科	1. 多言語・多文化を通して人間を考える。 2. 人と人をつなぐ人になる。	1. 英語をはじめとした十分な基礎学力を有している。 2. ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかについて、第二外国語として学ぶ強い意欲を有している。 3. 自分の考えや興味関心について、筋道を立てて説明することができる。 4. 言語と文化をめぐって探求する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、明確な理解と興味を有している。
	情報科学科	ITスキルを身につけた教養人を養成する。	1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。 2. 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。 3. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。 4. 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。
	地域構想学科	グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。	1. 十分な基礎学力を有している。 2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。 3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。 4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にかかわっていかうとする明確な目的と意欲を有している。

一般選抜

大学入学共通テスト利用選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

特別選抜

編入学選抜

各種アワード

2022年度 学部・学科および募集定員

学部	学 科	募集定員	一 般 選 抜		大学入学共通テスト利用選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜					外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜				
			前期		後期日程	前期	後期	A日程	B日程	推 学 業 成 績 に よ る 推 薦	資格取得による推薦		推 キ リ ス ト 者 推 薦 等			ス ポ ー ツ 推 薦	文 化 活 動 推 薦	T G 推 薦	
			A日程	B日程							指定校	公 募							
文学部	英文学科	180	29	29	8	18	7	30	5	36				2	4	4	6	1	1
	総合人文学科	50	8	8	3	7	2	5	1	6				2	1	1	4	1	1
	歴史学科	170	32	31	9	15	4	20	2	40				2	4	3	6	1	1
	教育学科	50	10	15	3	6	2	3	1	3				1	1	1	2	1	1
経済学部	経済学科	440	105	105	10	30	12	33	2	70				4	30	5	28	1	5
	共生社会経済学科	187	36	35	8	12	4	33	2	30				2	12	2	8	1	2
経営学部	経営学科	341	59	58	14	25	9	42	2	50	15	5	5	2	19	3	28	3	2
法学部	法律学科	358	70	70	25	35	8	30	4	55				3	20	4	30	2	2
工学部	機械知能工学科	110	21	20	4	10	2	10	2	24 (7)				2	2	2	9	1	1
	電気電子工学科	110	21	20	4	10	2	10	2	24 (7)				2	2	2	9	1	1
	環境建設工学科	110	21	20	4	10	2	14	2	20 (7)				2	2	2	9	1	1
	情報基盤工学科	110	21	20	4	10	2	10	2	24 (7)				2	2	2	9	1	1
教養学部	人間科学科	110	22	22	5	9	3	12	2	14				2	7	2	8	1	1
	言語文化学科	110	24	23	5	10	3	10	1	14				2	6	2	8	1	1
	情報科学科	110	22	22	5	10	3	12	2	14				2	6	2	8	1	1
	地域構想学科	110	22	22	5	9	3	12	2	14				2	7	2	8	1	1
合 計	2,656	523	520	116	226	68	286	34	438 (28)	15	5	5	34	125	39	180	19	23	

[注意] ① 「学業成績による推薦」の定員数における()内の数字は、職業教育を主とする学科出身者のためのもので内数。

② TG推薦は、併設高校(東北学院高校、東北学院榴ヶ岡高校)からの募集定員数。

2022年度入学者選抜の主な変更点

1. 募集定員の変更について

一般選抜前期A・B日程(複数学科併願方式)の採用と英語資格・検定試験利用選抜の一般選抜前期B日程への統合に伴い、各学部・学科において募集定員を一部変更します。

2. 入試区分・名称の変更について

一般選抜前期A・B日程(複数学科併願方式)の採用に伴い、以下のように変更し、新しい方式を導入します。

現行(2021年度選抜まで)

2月1日	全学部型	16学科	3科目 (英語+2科目)
2月2日	学科分割型	8学科	
2月3日	学科分割型	8学科	

変更(2022年度選抜から)

2月1日	全学部型A日程 (複数学科併願方式)	16学科 (3学科併願可)	3科目 (英語+2科目)	英語資格・検定試験も利用できます。 (※を参照)
2月2日	全学部型B日程 (複数学科併願方式)	16学科 (3学科併願可)	3科目 (英語+2科目)	

実施日数 3日間 最大出願数 3学科

実施日数 2日間 最大出願数 6学科

※全学部型B日程では、英語資格・検定試験公式スコアを持っている受験生は、その換算点と必須試験科目である「英語」の点数を比較して、高得点の方で評価します。

3. 一般選抜前期日程における「併願割引」の導入について

一般選抜前期日程において、1日につき3学科まで併願することができます。2学科目以降の出願については、「併願割引」を導入します。詳しくはP11をご参照ください。

4. 英語資格・検定試験利用選抜の統合について

これまで2月1日に実施していた英語資格・検定試験利用選抜は、2月2日の全学部型B日程に統合し、英語資格・検定試験公式スコアも利用可能とします。

5. 一般選抜前期日程における「福島会場」の新設について

一般選抜前期日程において、これまで札幌・函館・青森・八戸・盛岡・秋田・山形・鶴岡・郡山・東京の10会場で開催していた地区試験場に、福島会場を新設します。

6. WEB出願の拡大について

これまで、一般選抜(前期日程・後期日程)、英語資格・検定試験利用選抜、大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)において実施していたWEB出願を、以下の選抜制度に拡大します。これに伴い、冊子体の募集要項は廃止し、WEBにおいて掲載します。

- 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜⇒WEB出願(現行通り)
- 学校推薦型選抜(学業成績、スポーツ、文化活動、資格取得、キリスト者等)⇒WEB出願(新規)
- 編入学選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜⇒WEB出願(新規)

※総合型選抜については、これまで通り冊子体での募集要項を配付します。

7. 一般選抜試験科目「化学」の出題範囲変更について

一般選抜試験科目「化学」において、2021年度まで「高分子化合物の性質と利用」を除く」としていましたが、この制限を廃止します。

8. 学校推薦型選抜資格取得による推薦(公募推薦)の出願資格拡大について

これまで、経営学科の公募推薦の資格取得条件は、日商簿記検定2級以上合格の方のみでしたが、全商簿記検定1級合格の方にも拡大します。ただし、全商簿記検定1級合格の方には、調査書の「外国語(英語)」「国語」「数学」の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上で、かつ全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上であることが求められます。

9. 教養学部言語文化学科の大学入学共通テスト利用選抜前期の配点変更について

これまで言語文化学科では、大学共通テスト利用選抜の外国語の配点を250点としていましたが、200点に変更します。これに伴い合計点も650点から600点に変更します。